北海道造形教育連盟報

No.154　2022.7.21発行

発　行　北海道造形教育連盟

会　長　東　尚典（札幌市立旭小学校長）

事務局長　堀口　基一（札幌市立新光小学校長）

事務局　札幌市立新光小学校
〒001－0901
札幌市北区新琴似1条12丁目1-1
TEL(011)762－7990・FAX(011)762－2619
HP http://hokuzou.kir.jp

全国大会後の新たなステージを迎えて

北海道造形教育連盟
会　長　**東　尚典**
（札幌市立旭小学校長）

令和４年度委員総会でご承認をいただき、今年度より会長を務めることとなりました。札幌市立旭小学校の東　尚典と申します。微力ではありますが、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度は、コロナ禍で一度止まってしまった私たち連盟の活動をどのように再開していくのか、加えて10年ぶりとなる全国造形教育研究大会開催という大きなミッションがありました。しかし、新たな分野に果敢に、そして創造的に取組む連盟のチャレンジ精神を発揮し、オンラインという新しい形での大会を実現することができました。何より、画面越しではありましたが、全国の造形教育関係者がつながり、新学習指導要領下での授業や評価、子どもの造形的な学びについて協議し、造形教育の大切さを共有できたことは大きな成果でした。大会開催にご尽力いただいた全ての皆様に改めて心から御礼申し上げます。

さて、年度は変わりましたが、コロナの状況はまだまだ先行き不透明です。しかし、各校ではこの２年余りの経験、知見を生かし、子どもたちの学びを止めない教育活動の工夫が一層進んできています。また、一人一台端末の導入等、ICTの活用も急速に進み、子どもの学びのツールとして、そして私たちの教員の研修や情報交流の手段として、今後の可能性に期待できるところです。

来る10月15日には第71回全道造形教育研究大会帯広・十勝大会がオンライン大会として計画され、十勝造形サークル及び帯広市教育研究会図工・美術部会の皆様には、大変なご苦労をいただきながら準備を進めていただいております。道本部として、大会や総会開催等で得たノウハウを提供し、円滑な大会運営につなげていきたいと考えます。どうぞ全道の会員の皆様の帯広・十勝大会へのご支援、ご協力をお願いいたします。

今年度のもう一つの大きな取組として、今後２年間をかけ、連盟本部の組織改編と全道研究大会の在り方の見直しに着手いたします。まず今年度は、本部組織の母体となる札幌の組織改編について札幌市造形教育連盟と共同で着手し、その後、次年度の新組織体制の下で、全道研究大会の在り方について検討していくように考えております。

北海道造形教育連盟が、本道造形教育の振興に資するため、持続可能な研究団体として新たなステージに移行するための１年目と考えておりますので、どうぞ会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<<<　令和4年度　北海道造形教育連盟役員・本部事務局　>>>

○会　　長　東　尚典（札幌市立旭小学校長）
○副 会 長　黒田　正則（帯広市立帯広第八中学校長）
○副 会 長　工藤　雅人（北広島市立大曲小学校長）
○副 会 長　西田　朋代（富良野市立麓郷小中学校長）
○副 会 長　仲井　靖典（函館市立本通中学校長）
○副 会 長　安田　仁昭（札幌市立上野幌中学校長）
○会 計 長　櫻田　　悟（札幌市立琴似小学校教頭）
○会計次長　中村　珠世（札幌市立幌南小学校）
○事務局長　堀口　基一（札幌市立新光小学校長）
○事務局次長　池田　武彦（札幌市立南白石小学校主幹）
○事務局次長　小林　知広（札幌市立西小学校教頭）
○事務局次長　八田　博之（札幌市立光陽小学校教頭）
○事務局次長　平井　　歩（札幌市立清田中学校教頭）
○庶務部長　濱口　裕子（札幌市立山鼻南小学校）
○庶務部副部長　木村　美香（札幌市立伏見小学校）
○広報部長　黒川　友理（札幌市立栄西小学校）
○広報部副部長　中村　嘉宏（札幌市立資生館小学校）
○広報部副部長　阿部　　永（北海道教育大学附属札幌中学校）
○研究部長　菊地　惟史（札幌市立幌西小学校）
○研究部副部長　市川　雅基（札幌市立新陵中学校）
○研究部副部長　十亀　　健（札幌市立伏見小学校）
○研究部副部長　矢野　宜利（札幌市立ノホロの丘小学校）
○研究部副部長　渡邊　千晴（札幌市立中沼小学校）
○研究部副部長　石川　早苗（札幌市立柏中学校）

ご挨拶と令和4年度の活動

北海道造形教育連盟
研究部長　**菊　地　惟　史**
（札幌市立幌西小学校）

ご挨拶

コロナ禍の夏も3度目を迎え、まだまだ制約のある中ではありますが、札幌市ではよさこいソーラン祭りや北海道神宮例祭、大通公園のビアガーデンなど、季節の風物詩が少しずつ戻ってきています。皆様の地域におかれましてはいかがでしょうか。

昨年度は第73回全国造形教育研究大会　北海道大会兼第70回全道造形教育研究大会　札幌大会に、全道の先生方からの貴重な提言発表並びに多数のご参加・ご意見をいただき、ありがとうございました。また、今年度は第71回全道造形教育研究大会　帯広・十勝大会に向けたご準備、ありがとうございます。

今年度より、北海道造形教育連盟の研究部長を拝命いたしました、札幌市立幌西小学校の菊地惟史（きくちただふみ）と申します。綿々と続く北海道造形教育連盟の重責ある役職を引き継ぐにあたり、私に何ができるだろうかという不安はありますが、精一杯務めて参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

思い起すと、ちょうど10年前の帯広大会にて、初めて全道大会での提言発表をさせていただきました。当時まだ経験の浅い私の拙い発表からも、子どもたちの姿を見取っていただき、あたたかいご意見をいただきました。この経験が、現在の私にもつながっています。

昨今、コロナ禍をきっかけに様々な物事の在り方が見直されてきています。本連盟の活動も、このコロナ禍で大きな影響を受けました。また、近年、会員数の減少により組織体制づくりや全道研究大会の運営に各サークルが大きな課題を抱えています。

そこで、本連盟が持続可能な組織となるように、特別委員会を立ち上げ検討していくこととなりました。

オンライン交流会

たくさんの皆様とつながるための取組として、今年度もオンライン交流会を計画しています。

昨年度は４回のオンライン交流会を行いました。参加された皆様から素敵な実践について報告していただき、貴重な学びの場となりました。しかし、多くの皆様に参加いただいたと言うには難しく、課題となっているところです。

今年度はお知らせの仕方や日程調整などを工夫し、多くの皆様に参加いただき、つながりをつくっていきたいと考えています。

教育美術展

昨年度はコロナ禍ということで、作品点数の制限や、札幌市の会員のみでの審査となりました。

今年度も冬頃にはどのような状況になっているかは読めませんが、できるならばまた、コロナ前のように全道のみなさんと共に、審査を通して子どもたちの素敵な作品を見て、語り合いたいと思います。

こちらも持続可能となるよう、日程を例年と変えてみることとなっています。実際にご参加いただき、審査はもちろん、運営についてもご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

これらの他にも、多くの皆様とつながることができるよう、活動を計画してまいりたいと考えています。ご意見・ご要望がありましたら、何なりとお伝えください。

北海道の子どもたちの、豊かな造形活動のために、どうぞ、よろしくお願いいたします。

北海道造形教育連盟の研究主題はこちら
http://hokuzou.kir.jp/research_subject.html

昨年度までの全道大会の資料はこちらから
http://hokuzou.kir.jp/taikai61-70.html

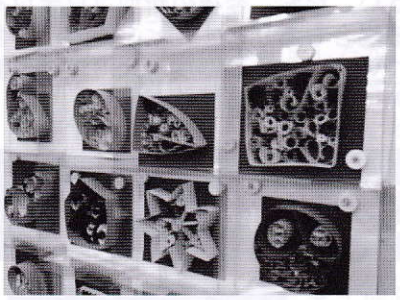
第71回　全道造形教育研究大会　帯広・十勝大会

開催日　令和4年（2022年）10月15日（土）オンライン開催
主　催　北海道造形教育連盟
帯広市教育研究会　図工・美術部会
十勝管内サークル協議会　十勝造形サークル

帯広・十勝大会

◇大会テーマ「つくるとき・つながるとき～豊かな心をはぐくむ造形教育」

◇研究主題「観る・感じる・創る・伝える・つながる」



大会テーマに込めた願い

今回の帯広・十勝大会の大会テーマ、「つくるとき・つながるとき～豊かな心をはぐくむ造形教育」は、２０１２年の帯広・十勝大会と同じ大会テーマです。大きくつながりあえない状況の中でも、私たちはそれぞれの場所で、今を一緒に生きる同士でつながりあい、みとめあい、つくりだすことを続けてきました。なかなか一堂に会し、交流しあえない状況でも、大切なことは何かを見つめ、造形教育に取り組んできた日々と子どもたちの造形活動を紹介したいと思います。

また、これからの時代の教育に必要なことを確かめ合う機会にしたいと考えています。

「わたしを創る」「学びのバトン」「新しい学びとつながり」などをテーマに分科会・講演会を予定しています。※大会案内・申し込みは北海道造形連盟HPに掲載予定です※

☆大会事務局　帯広市立帯広第八中学校（黒田・梅津）

☆Email：obi8jhs@fl.octv.ne.jp

第48回 北海道教育美術展 開催のお知らせ

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防への対応のため、応募点数に制限を設けたり、教育美術展審査研修会の規模を縮小したりする形をとりながら、２年ぶりに教育美術展を開催することができました。一方、運営上での課題も出てきましたので、その点を踏まえ、今年度は以下のように実施したいと考えています。

【令和4年度　北海道教育美術展に関わる日程（予定）】

令和4年 9月ごろ	応募要項発送
12月17日（土）・18日（日）	審査研修会
令和5年 1月 6日（金）	搬入・展示
7日（土）～ 9日（月）	北海道教育美術展展覧会
10日（火）～	作品返却

審査研修会について

近年の年末年始の学校休校日の設定に伴い、各学校園から受賞者等への連絡期間が限られてきております。その時間を確保するため、日程をこれまでより前倒しして２学期終業式前の土日に行うことにしました。このことで、これまでのように地区サークルからの審査会へのご参加が難しくなることも予想されますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

表彰式について

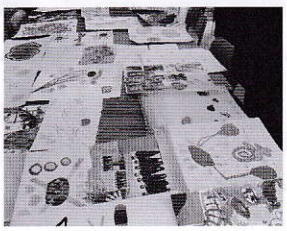
今年度も会場の確保が難しく表彰式は行いません。賞状及び記念品は、作品と一緒に各学校園へ送付いたします。

本美術展の詳細につきましては、後日、各学校園に配付されます応募要項をご確認ください。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催が中止となる場合もありますことを、ご承知おきください。教育美術展開催に関わる変更については、その都度、北海道造形教育連盟ホームページにてお知らせいたしますので、随時ご確認ください。

日高造形教育研究会の紹介

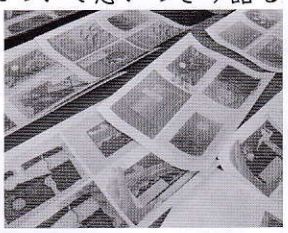
事務局長　中村　里美
（新ひだか町立静内中学校）

日高造形教育研究会は、平成23年(2011年)に設立され、今年で11年目となります。「豊かに発想し、主体的な造形表現で学びを深められる児童生徒の育成」を研究テーマに、会員７名という少数精鋭の小さな研究会ですが、実技講習会や公開授業研究会等を開催しています。また、「作品で子どもを語る会」と称して、子どもが制作した作品を持ち寄り、作品を通して聞こえる子どもの声を見出し、実践における高め方や生かし方を交流するなど、会員の資質向上を図るとともに、日高管内の図工・美術教育の振興に努めています。



昨年度に開催した研修会では、講師を招聘し、「対話による学びについて考える」をテーマに、参加者全員が鑑賞の授業について考え、実体験を通じて深く学び合うことができました。また、中学校第２学年の「印象や感情を表す～自分を表す１枚～」という題材で、公開授業を行いました。生徒は、モダンテクニックを用いた抽象表現について学び、自分のよさや印象、心の世界を表現し、自分にしか生み出せない作品を制作することができました。形や色のイメージをつかみながら、自分らしさと向き合う生徒の様子が印象に残る授業となりました。授業後には「作品で子どもを語る会」を行い、子どもたちの様子や指導法等について語り合い、実りある研修会となりました。

会員数が少ない研究会ではありますが、実践交流会や研究会等に参加したメンバーが、作品を通して子どもについて思いっきり語ることができるよう活動を続けていきます。



あとがき

学校は徐々にコロナ禍以前の状況を取り戻しつつありますが、会員の皆様の地域はいかがでしょうか？広報部のメンバーも新しくなり、こうして第１５４号をお届けすることができ、ほっとしております。寄稿くださいました皆様、ありがとうございました。今後、HPのリニューアルも予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

＜北海道造形教育連盟　広報部＞　黒　川　友　理・中　村　嘉　宏・阿　部　　永